

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●丸山元気騎手がJRA通算300勝を達成

6月20日(土)の1回函館1日・第6レースではセプティエームが1着となり、同馬に騎乗した丸山元気騎手(美浦・根本康広厩舎)は、現役43人目となるJRA通算300勝(4132戦目)を達成しました。

### ●田辺裕信騎手がJRA通算500勝を達成

6月21日(日)の3回東京6日・第9レースとしておこなわれた青梅特別ではクライスマイルが1着となり、同馬に騎乗した田辺裕信騎手(美浦・小西一男厩舎)は、史上88人目、現役では29人目となるJRA通算500勝(7360戦目)を達成しました。

### ●江田照男騎手がJRA通算1万4000回騎乗を達成

6月21日(日)の3回東京6日・第8レースでクールジャイロに騎乗した江田照男騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で、史上13人目、現役では10人目となるJRA通算1万4000回騎乗を達成しました。

### ●ハナズゴールが競走馬登録抹消

2014年オールエイジドS(豪G1)などの勝ち馬ハナズゴール(牝6歳/美浦・加藤和宏厩舎)は、6月24日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績24戦5勝・海外5戦1勝で、今後は北海道浦河町のカナイシスタッドにて繁殖馬となる予定です。

### ●インカンテーションが故障

2015年平安S(GIII)などの勝ち馬インカンテーション(牡5歳/栗東・羽月友彦厩舎)は、左第1趾骨骨折を発症していることが判明しました。今後3か月以上の休養を要する見込みです。

### ●ロンジンワールドベストレースホースランキング発表

IFHA(国際競馬統括機関連盟)から恒例の「ロンジンワールドベストレースホースランキング」が発表されました(単位はポンド)。今回の発表分は2015年1月1日から6月7日までに施行された世界の主要レースが対象で、ベルモントSを圧勝し、1978年のアフアムド以来37年ぶりとなる米三冠を達成したアメリカンファラオが前回の第3位タイ(124)からトップ(128)へと躍進。また英ダービーを勝ったゴールデンホーンがエイブルフレンド、シェアドビリーフと並ぶ第2位タイ(125)となりました。日本調教馬は、日本ダービーで二冠馬となったドゥラメンテが第11位タイ(121/前は119で第20位タイ)、ゴールドシップが第19位タイ(120)と、2頭がランクインしています。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●ホッコータルマエが帝王賞で最多タイのG1・JpnI 9勝目

帝王賞(JpnI、6月24日、大井、2000<sup>円</sup>)は、5番手から差を詰めたホッコータルマエ(幸英明騎手、牡6歳、父キングカメハメハ)が、先に抜け出したクリソライトを残り200<sup>円</sup>で捉えて $\frac{3}{4}$ 馬身差を付け、単勝1.5倍の支持に応じてヴァーミリアン、エスポワールシチーに並ぶ国内最多タイ記録となるG1・JpnI 9勝目をあげました。ニホンピロアワーズは5着、逃げた2番人気のクリノスターオーは6着、3番人気のワンダーアキュートは8着でした。

### ●優勝スプリントはルックスザットキル、各地の主要3歳重賞

優勝スプリント(6月23日、大井、1200<sup>円</sup>)は、逃げた1番人気のルックスザットキル(牡、父ワイルドキャットエア)が3馬身差の楽勝を取っています。

### ●スパーキングレディーC(川崎)はサンビスタが中心

スパーキングレディーC(ホクトベガメモリアル)(JpnIII、7月1日、川崎、1600<sup>円</sup>)は、牝馬同士なら58<sup>%</sup>でもサンビスタが最有力候補、以下トロワボヌール、昨年の覇者サウンドガガ、ピッチシフター(愛知)までが争覇圏内と考えられ、初ダートに加えて近走不振続きのメイショウマンボは条件が厳しいようです。

## ★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

### ●英ロイヤルアスコット閉幕～R.ムーアが9勝の金字塔

6月16日開幕のアスコット王室競馬は6月20日に閉幕しました。先週紹介した最初の2日に続く18日のメイン、ゴールドC(G1、芝20<sup>00</sup>ヤ)は6番人気の英国馬トリップトゥパリ(騾4歳、父ジャンゼリゼ)が最内から差して重賞初勝利。19日の新設G1コモンウェルスC(3歳、直線芝6<sup>00</sup>ヤ)は、6番人気の英国馬ムハーラー(牡、父オアシスドリーム)が内から抜け出して圧勝。同日のコロネーションS(3歳牝、芝1<sup>400</sup>ヤ)は2番人気タイのフランス馬エルヴェディヤ(父シユニ)が際どく差し切り、仏1000ギニーに続くG1制覇。最終日のダイヤモンドジュビリーS(4歳上、直線芝6<sup>00</sup>ヤ)は、6番人気タイの米国馬アンドラフテッド(騾5歳、父プリム)が内から差して初のG1勝ち。全30レース中、外国調教馬は13勝し、これは2012年の11勝を上回る新記録。5日間の入場人員29万3303人は昨年比7472人増。R.ムーア(英)は戦後の新記録となる9勝で開催首位騎手。首位調教師は5勝のA.オプライエン(愛)でした。